

キーウ・クラシック・バレエ

夢の3大バレエ

名場面集

日本全国120公演以上にわたる公演ツアーを敢行した2017年から毎年、その親しみやすいパフォーマンスで好評をいただいているキーウ・クラシック・バレエ。パリ、ロンドン、ローマをはじめ、世界各国を魅了してきたウクライナ発のクラシック・バレエが、今年も感動を届けにやってきます！

キーウ・クラシック・バレエの『チャイコフスキー夢の3大バレエ』は、来日当初から圧倒的人気を誇る作品。チャイコフスキーの残した3大クラシック・バレエから、各作品を代表する名場面ばかりを集めて上演いたします。

『くるみ割り人形』からは、華やかで優雅な“花のワルツ”に続く感動のフィナーレ、コール・ド・バレエが壮観な『白鳥の湖』の1幕2場。そして『眠れる森の美女』は物語をハイライトに、第2幕のオーロラ姫とデジレ王子の結婚式をメインにお届け。バレエをもっと好きになる、心躍る時間をお贈りいたします。



くるみ割り人形

クリスマスイブの夜、くるみ割り人形をプレゼントされた少女クララ。夢の中でおもちゃの兵隊たちと一緒に勇敢に戦い、王子となつたくるみ割り人形とおとぎの国へ旅をする。そして、お菓子のお城で妖精たちに歓迎されながら、楽しいひとときを過ごす。



白鳥の湖

悪魔ロットバルトの呪いで白鳥の姿に変えられたオデットは、月明りの下でのみ人間の姿に戻ることが出来る。オデットを解放できるのは、まだ愛を誓った事のない青年の真実の愛。ある夜、湖のほとりにやってきたジークフリート王子は、儚く美しいオデットに心を奪われ、愛を誓う…



眠れる森の美女

16歳の誕生日、悪の精カラボスに呪いをかけられ眠りについたオーロラ姫。しかしリラの精が、100年後には美しい王子が姫を目覚めさせるという呪いに変える。100年の時が経ち、悪は滅びる。青い鳥や長靴をはいた猫など、童話の主人公たちが続々と登場する華やかな結婚式で、姫と王子は幸せにつつまれる。

キーウ・クラシック・バレエ

Kyiv Classic Ballet

1982年設立のキーウ市立アカデミー・オペラ・バレエ青少年劇場を母体とするバレエ団。元は劇場の海外公演時のバレエ団として組織されていたが、評判を呼び団体として独立。劇場の総裁・副総裁を務めたオクサーナ・ソロヴィオワが団長として率い、ウクライナ共和国人民芸術家であり、ウクライナ国立歌劇場バレエにおいてプリンシパルとして長年活躍したテチヤナ・ヴォロヴィークが芸術監督を務めている。劇場の理念に則り、上演作品はどれも幅広い年齢層の観客が楽しめる構成を基本とし、特にバレエを初めて経験する子どもたちに楽しめるよう工夫を凝らした公演を提供している。

また国内外の様々な劇場からゲスト・ダンサーを迎え、所属団体の垣根を越えて素晴らしいアーティストが集っている。これまでに、ドイツ、イタリア、スペイン、フランス、ポルトガル、イギリス、スイス、スロベニア、ユーゴスラビア、オランダ、日本、韓国、カナダ、南アメリカなどで公演を行っており、世界中にバレエ芸術の素晴らしさを伝え続けている。

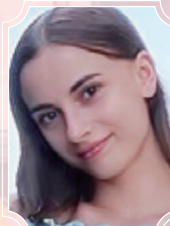


プリンシパル



長澤美絵 Mie Nagasawa

ワガノワ・バレエ・アカデミー卒業。2005年にドネツク国立アカデミック・オペラ・バレエ劇場に入団し、2010年にキーウ市立アカデミー・オペラ・バレエ青少年劇場に移籍。同劇場とキーウ・クラシック・バレエを率いるプリンシパルとして長年活躍している。



アンナ・レズニチェンコ Anna Reznichenko

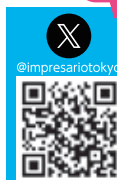
キーウ国立振付学校卒業。2021年にキーウ市立アカデミー・オペラ・バレエ青少年劇場に入団し、キーウ・クラシック・バレエの海外ツアー公演に参加している。モルドバ国立キシニョフ・オペラ・バレエ劇場にもゲスト・ソリストとして在籍中。

※出演者は都合により変更となる場合がございます

ご注意とお願い 予め下記の事項をご了承くださいますようお願い致します

- ※3歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。※演奏は特別録音音源を使用いたします。
- ※開演後のご入場は制限させていただく場合がございます。
- ※上演中の写真撮影、録音、録画はご遠慮ください。
- ※本チラシ記載の出演者はやむを得ない事情により変更となる場合がございます。
- ※ご購入後のチケットのキャンセルや変更、紛失による再発行はできません。
- ※営利目的の転売行為は法令により禁止されております。

FOLLOW US!



他会場・他演目公演も

キーウ・クラシック・バレエのその他の演目・公演会場はこちらから▶▶

